

Monday, November 2 2020

量子化学探索研究所 (IQCE) は、人類がかかえる様々な問題の解決に向けて量子化学に基づく探索研究を普及・発展させることを目的に 2013 年に発足し、シンポジウム開催や研究助成をはじめとして様々な事業に取り組んでおります。

その活動の一環として、量子化学探索に関わる先端研究を展開しておられる方を講師にお迎えし、下記の内容で講演会を開催いたします。

日時：2020 年 11 月 2 日 (月) 13:00 ~ 17:00

場所：東京大学 (本郷キャンパス) 山上会館 2 階大会議室

- アクセス：公共交通機関の駅から山上会館までの所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線) より徒歩 10 分
本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線) より徒歩 8 分
湯島駅 (地下鉄千代田線) より徒歩 15 分
根津駅 (地下鉄千代田線) より徒歩 10 分
東大前駅 (地下鉄南北線) より徒歩 10 分
春日駅 (地下鉄三田線) より徒歩 15 分
- 主催：特定非営利活動法人量子化学探索研究所
- 協賛：理論化学会、触媒学会、日本表面真空学会、有機合成化学協会
日本化学会、分子科学会



IQCE 量子化学探索講演会

「量子化学で探る化学の最先端」2020

講演会参加費：無料

プログラム：司会：武次徹也 (北海道大)

座長：高柳敏幸 (埼玉大)
13:00-13:20 前田 理 (北海道大)
13:20-13:40 満田祐樹 (筑波大)
13:40-14:00 波田雅彦 (首都大)

「GRRM プログラムの新展開 2020」
「超球面探索法と分子動力学計算による自由エネルギー反応経路ネットワーク計算」
「NMR の精密計算と電子 EDM 探査を目指した相対論的量子化学計算」

座長：重田育照 (筑波大)
14:00-14:20 工藤 聡 (東京大)
14:20-14:40 岩佐 豪 (北海道大)
14:40-15:00 高柳敏幸 (埼玉大)

「金属クラスター上での一酸化窒素の解離の反応障壁」
「反応経路自動探索法を用いたクラスター触媒の理論研究」
「スピン反転を含む反応経路の自動探索と量子ダイナミクス」

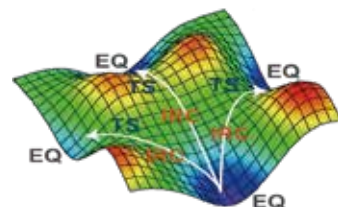
休憩

座長：大野公一 (IQCE)
[特別講演]
15:20-15:50 内山真伸 (東京大)

「量子化学計算で拓く新反応・新機能・新化学」

座長：真船文隆 (東京大)
15:50-16:10 高橋正彦 (東北大)
16:10-16:30 大下慶次郎 (東北大)
16:30-16:50 山北佳宏 (電通大)

「超高分解能・超高感度電子運動量分光装置で切り拓きたい分子科学」
「イオン移動度質量分析と量子化学計算による分子内長距離プロトン移動の反応経路探索」
「状態選択されたペニングイオン化反応のトラジェクトリ解析：低温化学反応動力学へ向けて」



参加申込

※ 配布資料等の準備の都合がありますので、次の要領でお申込ください。

参加申込締切：2020 年 10 月 29 日 (木)

申込方法：<https://sites.google.com/edu.k.u-tokyo.ac.jp/iqce2020>

- ・会場収容人数の関係で、予定人数に達した場合はお断りすることがあります。なるべくお早目にお申込みください。
- ・当日、会場に余裕がある場合は、予約なしで入場をお認めいたしますが、配布資料などの配布物の予備には限度がありますので、なるべく事前に参加お申込みください。

実行委員 (世話人)：武次徹也 (北海道大学)、佐々木岳彦 (東京大学)、山門英雄 (和歌山大学)

<https://iqce.jp/>

